



あきのかみ しょう つうしん

明神小通信

2023年2月28日 2月号



学校スローガン 「 学び合い 認め合う 明神っ子 」

今年度も残すところ、あと1ヶ月となりました。子どもたちは、それぞれの学年のま
とめに向けてがんばっています。特に6年生は、卒業に向けての準備が始まっています。
「終わりよければすべてよし」のごとく、充実した学校生活を送ることができるように
がんばってほしいと思います。

体験入学

2月21日（水）に、4月から入学予定の新1年生が、体験入学として小学校にやっ
てきました。現在の1年生が、この一年間で学習したことを入学予定の子どもたちに紹
介しました。「小学校は楽しいところだよ」と思ってもらえるようにという現1年生の子
どもたちの思いがあふれていました。



6年生を送る会

昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で実施できなかった「6年生を送る会」
を2月24日（金）に行いました。

6年生は体育館で、各学年が交代しながら披露してくれる出し物をととても楽しく見て
いました。どの学年の出し物にも、6年生に対する感謝の気持ちがあふれていました。
卒業生にとっても、在校生にとっても思い出に残る会になったと思います。



※裏面あります。

防災教育について

①防災給食

28年前に、阪神・淡路大震災が発生した同日の1月17日（火）の給食は、防災給食の日」としての献立が出されました。災害発生時の「炊き出し」を想定した「セルフおむすび（醤油ごはんとおむすび用のり）」、缶詰をイメージした「さばの照り焼き」、「炊き出しみそ汁」という内容でした。

実際の避難所での食事は、もっと厳しいことになるかもしれませんが、少しでも、災害時の食事をイメージして食べてほしいという願いで実施されました。

②避難訓練

2月22日（水）には、地震及び津波を想定した避難訓練を実施しました。大きな地震が発生した場合には、まず1次避難場所の運動場に避難をします。その後、津波に関する警報が発令された場合には、2次避難場所の校舎3階へ避難することになっています。

今回の避難訓練は、津波に関する警報が発令されたものの、校舎が避難に適さない状態になった場合に、3次避難場所である「さくら公園」に避難するという想定で行いました。

運動場に集合して人数確認などをした後、さくら公園への避難を開始しました。幼稚園児は、6年生が手をつなぎ、いっしょにさくら公園まで歩いていきました。全員が避難し終えるまでに10分ほどかかりましたが、みんな真剣に取り組んでいました。

今回の避難訓練には、小学校、幼稚園の子どもや職員の他に、自主防災会の方々、明神児童クラブの職員の方々も参加していただきました。



明神小学校では、年間を通じて防災への意識や知識を高めるために、教育活動全体で様々な取組を行っています。避難訓練においても、火災、地震、津波、不審者等の様々な場面を想定して複数回実施しています。

学校アンケートでの防災に対する設問では、肯定的な回答（よくあてはまる、ややあてはまる）の割合は、

（児童）「避難訓練などは、真剣に取り組んでいる。」92.9%

（保護者）「子どもと防災のことについて、家で話し合っている。」58.9%

という結果が出ています。

子どもたちが学校にいるときに災害が発生した場合には、ある程度避難方法や避難場所については理解できていると思います。しかし、下校後や休日に家庭にいる場合は、避難方法や避難場所についての理解が十分でないという心配があります。

先日、「鳴門市学校・家庭防災マニュアル」と「わたしと家族の災害時アクションカード」配布させていただきました。通学途中や休日における災害発生時の避難場所について記入していただくようお願いしました。これを機会に一度ご家庭で災害発生時における避難方法や避難場所について、ご家族で話し合っただけけたらと思います。

※裏面あります。